

心理学 (Psychology)					担当教員
					非常勤講師 酒木 保
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	2年次 後期	講義	1.5単位	選択	

【概要】

心理学は、人間の心的活動を対象とする幅広い科学である。様々な領域、テーマがあり、現代の心理学において対象とされている問題、領域を紹介する。そして、日常生活の中での出来事や個人の内的な体験について、心理学的な理解を試みる。基本的に講義形式の授業を予定しているが、受講者の人数によってはグループセッションなどを取り入れながら授業を進める予定である。また、様々な現象を心理学的な視点から捉えられるよう、視覚教材やワークを使い学習を深めていく予定である。

【授業の一般目標】

科学としての心理学の考え方に触れ、心理学的なモノの見方を獲得する。日常生活で出会う現象と心理学の関わりを学び、日常の中で自然と体験される事象に対して、理論を用いた見方が養われることを目標とする。また、心理学という心を扱う学問における、科学的な理解をすることの困難さについても考えてゆく。

【準備学習(予習・復習)】

参考文献を読んでおくことと学習が進みやすい。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	心理学とは	酒木	心理学とはどのような学問であるか、その視座・方法・歴史について理解を深める。
2	心は身体のどこにあるのか	酒木	物質的な身体にどのように心が生まれるのか。心と脳の関係について理解を深める。
3	心の発達 (Ⅰ)	酒木	人間の心の発達における、子どもの発達について理解を深める。
4	心の発達 (Ⅱ)	酒木	人間の心の発達における、青年期・中年期・老年期の発達について理解を深める。
5	この世界を感じること	酒木	我々が周りの世界を知るための手段として常に働かせている、感覚について理解を深める。
6	この世界を意味づけること	酒木	我々の感覚を意味づけ、周りの世界を把握する知覚の機能について理解を深める。
7	学習するということ (Ⅰ)	酒木	人間の学習はどのように成立しているのか。いくつかの学習理論を学び、理解を深める。
8	学習するということ (Ⅱ)	酒木	人間の行動の変容について、日常の生活行動を学習理論の視点から考える。
9	覚えることと忘れること	酒木	人間の記憶の基本的な働きについて、記憶の在り方、プロセスを学び、理解を深める。
10	問題を解くこと	酒木	人間の思考と言語について、そのメカニズムと両者の関係について理解を深める。
11	行動を方向づけ、適応すること	酒木	動機づけと情動について理解を深める。他者のどのような関わりが動機付けを促すのか考える。
12	人を知り、人の心を癒すこと	酒木	パーソナリティの理論とモデル、アセスメントについて理解を深める。適応という面からパーソナリティを考える。
13	「心の病」とはなにか	酒木	心の問題、心の病とはどういうことなのか。具体的な現象を心理学的に考え、心の病について理解を深める。
14	人と人とのコミュニケーション	酒木	社会の中の人間の心理について理解を深める。人と人とのコミュニケーションについて心理学的な視点で考える。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 必要な資料は講義ごとに配布する。

参考書 サイコロジー事始め

金児暁嗣 (編)

有斐閣ブックス

その他、授業の中で随時紹介していく。

【成績評価方法・基準】

学期末に講義の理解度を確認するテストを実施する。学期末テストの結果と出席状況、講義内で行う小課題の取り組み状況を踏まえて評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オリエンテーション時に担当教員から連絡する。